

四代目見玉政藤が残した栽培に関する古文書。

A2の大きさの画用紙に、わかりやすい絵を交えつつ書かれた『柑橘樹の力学図解(昭和40年)』と『計画的密植栽培及び八朔樹の整枝剪定図解表。間伐と誘引による樹冠拡大(昭和50年)』の二冊です。

昭和50年といいますが、私が産まれる一年前の事で、そのような時代に四代目はこのような事を考えていたのだと、勉強になることばかりです。

『自然の法則』は、古今東西変わることはありません。

こうして後世の事を考えて作ってくれていたことに対し、また農園を築いてくれていたことに対し、先祖に対してもっと感謝しなければいけないと反省しております。

社会に貢献する事で恩返しをしていきますので、見守って下さい。

